

コミュニティ・スクール通信



～地域とともにある学校へ～

平成 29 年 6 月
千歳市教育委員会

第 1 号

1 はじまります～調査研究指定校の取組

千歳市でのコミュニティ・スクールの本格的な導入に向けた調査研究指定校である千歳市立高台小学校、青葉中学校、駒里小中学校と教育委員会担当各課による第2回コミュニティ・スクール調査研究指定校会議が5月18日に開催されました。

本年2月開催の第1回会議では調査研究の目的や見通し、予想される課題等の確認がなされました。今回は各校取組状況の交流、今後の具体的展開にあたっての協議が進められました。

各校では、まず学校運営協議会委員の選任から始まりますが、どの学校も「これまでも地域が大変協力的であるので『子どものためにどうしたらもっと』という視点で無理なく進めていくことができそうだ」とのことでした。

2 調査研究の内容

上記の会議では、調査研究の内容である①協議会委員の選任 ②校内体制 ③活動の見通し ④情報発信の4点について、3校から現時点での報告がありました。その後、以下について協議がなされました。

- ・制度理解についての浸透状況 ・今年度の活動の見通し
- ・人材確保（地域・保護者） ・協議会規則作成の見通し
- ・視察研修（先進的地域）・研修会（地域・保護者・教職員）
- ・事業費の予算と執行 ・既存の類似制度との関係や整理

教育委員会では、コミュニティ・スクール導入に向けた取組を定期的にお知らせします。



ー □ × ㊦

《まずは用語や定義から》

コミュニティ・スクールとは

学校運営協議会を設置している学校

学校運営協議会の主な役割

保護者・地域の皆さんが一定の権限と責任を持って

- ① 学校運営の基本方針を承認
- ② 学校運営・教育活動への意見を述べる など

→教育活動の充実・課題解決に参画

導入によって期待される効果

- ・子ども達の学びや体験活動の充実
- ・地域の理解と協力を得た学校運営
- ・地域人材活用による教育活動充実
- ・人間関係構築（保護者同士・地域）
- ・地域ネットワークの形成

千歳市における調査研究の目的

学校の教育目標（育てたい子ども）
実現のためにコミュニティ・スクール制度を活用してできることは何か

既存の類似制度

学校評議員・学校関係者評価委員会

これまでとの違い

「地域に開かれた学校」から
「地域とともにある学校」へ